

## 軽米町百人委員会第3回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成30年10月29日（月）午後6時30分～7時30分

○開催場所：軽米町役場 3階会議室

○出席者

委員：20名中9名出席

事務局：健康福祉課 坂下、角田、山下、日向

教育委員会事務局 工藤、寺地

総務課 日山

○開会 副部会長

### 1 部会長あいさつ

（部会長）改めまして、みなさんこんばんは。朝晩寒くてストーブが恋しい時期になりましたけれども、今日も寒い中またお忙しい中子育て部会に出席していただきありがとうございます。今日は町ぐるみの子育て支援体制の構築についてなんですけれども、全体会での提言の内容の確認という事なのでよろしくお願いいたします。

（副部会長）今日は、提言内容もほぼ概要は前回の時のまとめ係でまとめさせていただきましたので、それを基に事務局の方で実際に文章にさせていただいて、その辺を今日は皆さんで確認していただいでこれによろしいかという辺りで、集まっていたきましたので話していきたいと思います。今日は多分一人ひとりからご意見というのではなくて、皆さんから付き合っていて、ここは肉付けした方がというような意見等でまとめて、それでよければこれでいこうという事でいいのではないかと思いますので、流れによっては、ささっといく可能性もあると思っています。管轄内での意見をいただければと思います。では、議事に従って進めてまいります。

### 2 議事

#### （1）第2回目の内容確認

（事務局）第2回はつらつ子育て会議で出た意見の確認。手元の資料を読み上げる。

（副部会長）今事務局からお話があったように、5本の柱でこれは29年度の3回話し合ったものからの持ち越したものもありますし、30年度は2回話し合った中で出たものもありますし、それらを総合的に掲げてみるとこの5つくらいにまとまったという定義がございます。それでは、次に進んでいきたいと思います。（2）のテーマ「町ぐるみの子育て支援体制の構築」について。全体会での定義に向けた協議という方に入っていきたいと思います。提言内容の確認と補足をみんなでしましょうという事です。では、事務局の方からご提案をお願いします。

#### （2）テーマ「町ぐるみの子育て支援体制の構築」について

（事務局）全体会に向けた協議ということで事務局案について説明致したいと思います。

提言については先程の前回の内容確認に出ました5点について事務局案としてま

とめました。1点目は一時預かり保育と病後児保育の実施という事で、それに伴っている資格者が必要という事でその確保について退職保育士の会とか退職看護師の会の組織の方等をお願いするという事にしたらどうか。事務局として事業化というのは補足の案ですが組織するための働きかけ等を役場でやって運営の補助金等を出してはどうかという事です。2点目こちらは若者が帰ってきて住めるような低価格の住宅確保ということで、空き家をリノベーションして貸し出したらどうでしょうかという事なんです、その費用について役場で負担して家主への家賃収入から返済とか、役場で空き家を買ってリノベーションするという方法があるのではないかとこの事です。3点目は、公園が少ないという事なんです、公園が少ないという事で公園について多世代が交流できるような公園。あと自転車に乗れるような公園が町中にあればいいという事。予算等の兼ね合いもありますので、中央公民館前を車が入れないようにして公園にするとか、保育園幼稚園の園庭を休みの日に開放するようなこともできればいいのではないかとこのこと。川遊びができるような場所。安全にできるようなところがあればいいのではないかとこの提言。管理については老人クラブに委託するとかボランティアを募集してお願いするとかこのこと。事務局の補足の案なんです、ボランティアにはTシャツとかジャンパーを揃えてやればいいのではないかとこの補足の意見でございます。4点目は、軽米高校存続のための応援という事で、軽米高校に進学しないで他の高校に行った人の声を聞いてみるのも必要ということ。高校に入る前の小学生中学生から軽米高校を知ってもらう取り組みも必要という事で文化祭に来てもらうように模擬店で使えるチケットを配るとこの事で、中学生にという事だったんですが、小学生から配るとこのはどうかという事で載せてみました。費用については役場で負担するようにしたらということ。その他に町の商店、飲食店等がテントを出して販売するような取り組みをしたらいいのではないかとこの事です。最後に5点目なんです、入浴もできる宿泊施設を作ったらいいのではないかと。スポーツ大会が多く開催されるということで、朝早く出てくるのは大変なので前の日に来て泊まったり、汗をかいて帰るのも大変なので入浴ができる施設で汗を流して帰るような施設があればいいという事を提言としてまとめさせていただきました。これで説明を終わらせていただきます。

(副部会長) 事務局さんの方には、あれだけいろんな意見がたくさん出たものをこのようにコンパクトに、ほぼだいたい取り入れられてまとめられてくださってありがとうございました。これについて皆さんの方からこの部分は前意見として出たのに抜けていたもので含めておいた方がいいのではないかとこの意見をもらって肉付けとか確認をお願いしたいと思っています。例えば、私なりに言いますが、私が感じた事としては例えば空き家をリノベーションするあたりの時に前回、委員の方から住宅補助の具体策で、軽米らしい宣伝としては電気料を一部補助し、それはメガソーラーからの電力を供給しますと訴えれば、他市町村からはなるほど軽米らしくていいねとなるのではという意見あったので、そういう辺りも言ってみたら他の百人委員会の方々も面白いと反応が良かったりするのではないかと感じたりはしました。それから、病児保育の辺りですね。入園前の一時預かりとか病児保育について、今回事務局さんがまとめた中には認定子ども園の文面が外されていましたが、すぐにできる事ができないにしても、中長期的

には認定子ども園を検討していただいて、そうすれば2つの施設が1つになるので、その公共施設を利用してやればいいという場所の確保という事にも繋がっていくのではないかなと思って、その保育園幼稚園の統合の事ももう1回入れてもいいのかなというような感じがしたり、私個人の意見ですけど、これを読んでの肉付けといいますか、感想です。皆さんの方からもあれこれ出してもらいたいと思いますけどもいかがですか。部会長さんは発表する立場として感想等はいかがですか。

(部会長) 私は、さっきもらって見たんですけど、中央公民館前に車を入れないようにして公園にするとなっているんですけど、中央公民館は車で来ますよね、何かあるときに。中央公民館の休館日にはという風になると、他の車を入れませんよっていう風に、今日はそこは子ども達が遊ぶ場所ですというのをきちっとルールがあったらいいのではないかな。休館日は祭りと毎週月曜日ですよ。それでないと大抵他は、日中でも夜でもほとんど車で来ているので、こういう風になると車は入れないのとなってしまうので、休館日って入れたらいいかなと今思ったんですけど。

(副部会長) なるほどです。この件に関してどうでしょうか。

(委員) 確かに皆さん近所の人でなければ車でしか来れないと思うので、公共の駐車場がなければ利用する人も利用しづらいと思います。近隣には公共施設の駐車場がないわけですよ。

(副部会長) 何よりも軽米町を知っている役場の方々からお聞きしますけれども、ないわけでもないというあたりはありますか。現実的には厳しい。

(事務局) 現実的には役場に車を置いて歩いてもらうのがいい。もし中央公民館の駐車場が公園として仕切ってしまった場合には、役場に車を停めて歩いてもらうのが一番いいなと思います。

(副部会長) であると結構距離がありますよね。

(部会長) 距離がありますね。使わなくなるのではないですか公民館。そういう風にしてしまうと。ここには車が置けませんよと言ったら。結構遠いですよね。役場に車を置いてそこから行くとなったら。

(委員) とりあえず、休館日と祝日を入れた方が。小学校の校庭にしても保育園幼稚園の園庭にしても休館日にはという事を入れると結構スムーズに。そこから始まって例えば公民館がそこではなくってあっちに行きましたという時は、中央公民館が自然に公園にした方がいいのかなと。そこまでは一気に絶対ここはもう駐車場ではなくて公園にとか、一気に子ども達が遊んでる時に公園になるとすごい動きがスムーズではなくなってきて大変なことになるので、そこはやはり、休館日や祝日には、使わない時には使わせちゃoudいという事が最初の第一歩かなと思いますよね。それだったらできそうかなとなりますよね。

(部会長) 本当は新しく公園があればいいのですが、そこまではいかないのです。

(副部会長) 祝日とか休館日には歩行者天国みたいにちょっと垣根をつくって進めましょう。

(委員) それが一番いいと思う。バリケードを置けばいいと思う。

(副部会長) 現実的な醍醐味として、中央公民館の場合は無条件で車が入れないようにしてというのではなくて、祝日とか休館日を歩行者天国のように車が入らないよう

に子ども達が遊べる時間にするというような感じで表現を考えてみたいと思います。他にみなさんからありませんか。

(委員) 他にはですね、病児保育一時預かり保育のところなんですけど、昨年町長さんはそこに力を入れてやりますというようなコメントをしていらっしゃるんですよね。そのところなんですけど、私もこれはすぐ可能なのかなという辺りを考えてみました。退職保育士はもう65歳まで働いていますし、65歳から70歳くらいの人を考えると酷かなと思っていましたよ。既に孫育てに入っている方、介護に入っている方、まず自分がやりたくてやれなかったことを一生懸命今正にやっている方。この3つくらいに分かれるよな。ここで65歳以上の退職保育士の人を会として組織づけるという、どうなんだろうと一人ずつ私も考えていたんです。その辺もちょっとそこをあまりぱっと言わないで資格のある方とそこを限定しないで。多分看護師さんもそうだと思います。60歳でぱっと辞めている人はいないと思います。まず、少しずつ65歳くらいまでは、何らかの形で勤めている方が多いと思います。それよりは他の市町村の例で、軽米でもそういう方向がいいのではないかなというようなやり方を市なんかはやっていますので。そのところを具体的に調べてみていただいてもいいかもしれないですよ。そのところの文章をあまり限定的にしない方がいいかなとちょっと思いました。

(副部長) ちょっと当事者の方々にはプレッシャーですよ。

(委員) 良いことなんだけど、実際みんなも60歳過ぎて定年になりました。あと5、6年頑張ってくださいとなると、はい、わかりました。という事になるけれども。65歳過ぎてからはいって言われてもなかなか。多分皆さんも65歳までは働くと思うんですこれから。そういう時代だから。そこを限定すると酷かなと試してみたりしました。

(部長) ではこの部分は退職保育士の会や退職看護師の会等を組織していただいてという文面はちょっと検討していただいて、資格者の確保については市町村の実践例を学びながら検討していただくという形でお願いしたいと思います。そうするとおぼろげながら年とっても元気な一つという感じで、そういう辺りでまとめるような感じで。そこはちょっと気になったところでもありました。その検討をお願いします。他にないでしょうか。

(委員) あと、先程委員の方がおっしゃったように2点目のところには電気料の話が入ってもいいと思いますよ。面白いと思います。軽米らしい特色を持ち出した感じの提案だと思いますよ。

(副部長) もう一回言わせていただきますが、こういう感じでした。住宅補助の具体的策で、軽米らしい宣伝としては電気料を一部補助しそれはメガソーラーからの電力を供給します。と、うたえば他市町村からは、なるほど、軽米オリジナルでいいねとなるのではという意見がありましたという事でした。ついでに先程やっばり私が言ったことなんですけれども、認定子ども園の検討というのはどうでしょうか。今回はあえてそこまで踏み込まなくてもいいか。長期的には認定子ども園の検討という事も探っていただければいいのではと進言に入れるか。皆さんいかがですか。

(委員) やっばり今、軽米保育園と幼稚園が分かれてて、幼稚園が極端に今在園時年少児から年長の子どもが21人なんですけれども、保育園は空きがない状態。結局軽

米保育園を希望していたけれど、軽米保育園には全部の年齢のところではないですが、入れないから小軽米まで連れて行っているお母さんが現実いる。未満時の部分ですけど。そういうのはやっぱりそうなると PTA の負担や幼稚園の奉仕作業も年に 3 回だったのが年に 5 回とどんどん増えていって、ここは一緒にするという話がずっと出てきている中でいつ具体化されるんだろという思いを思っているながら、長男が卒園し次男がもう年長に来年はなるみたいな状態なので、そこは一緒にしてもらって、未満時の部分は保育園でみるけど、年少から年長の部分は幼稚園の施設も使うとか、距離的にもそんなに遠くないので何かしてもらえればと思うのでこれはちょっと盛り込んで。なるのであれば、早めにそういうのができればもっと待機児童ではないけど、小さい子どもさんをもっている仕事復帰したいお母さん達も預けられないかなと言っている人も結構いるのでそこが少しでも緩和されると良いのではないかなと思います。

(副部会長) 前回までの話し合いでも病児保育一時預かりの場所としては、公共施設を利用する。廃校になった学校とかありましたけれども、やはり幼児には幼児にふさわしい環境設備が必要なので、そういう意見であれば保育園、幼稚園というのはそのまま即使える点では予算的にも一番効率的な方法なのかもしれません。認定子ども園の件というのはもう 1 回盛り込んでおいて、それが早期なのか中長期的なのか事務局の方にお任せしたいと思います。保育園と幼稚園が近いというのは強みですよ。

(委員) それを入れた方が良くと思います。保育園と幼稚園が近いので工夫によっては施設の活用が上手くスムーズにいく可能性もありますよね。例えば人がいっぱいいましたよ。4、5 歳は幼稚園。小さい方は保育園とかに入れて給食も 2 つの施設を上手く使える部分がありそうかな。それもまた近いから良い。園庭も広い方に行って遊べるし、動物がいるところに行きましょうといったら動物がいる幼稚園の方に行ったりして。そこの交流がプツンとしているのもっと交流して良いところ取りになるかもしれない部分もあります。

(副部会長) 今のイメージをそのまま事務局に持って行って差し上げますので、軽米の場合は保育園幼稚園お互い町立で、凄く近い場所にあるというのは強みとして軽米だからできるような。年代を分けてみるとか。いろんな可能性があるといった事も胸にとどめながら良い要件で強みの部分も盛り込んでいただければと思います。良い感じで肉付けがされてきましたけれども。よろしいでしょうか。今日が最後の話し合いになりますので。あとは事務局に任せる部分もあろうかと思っておりますけれども、その辺は部会長、副部会長の方にはこれでいいかという主観がくると思いますので、部会長さんに最後締めていただいてこれでいこうとなったものを発表されると思います。皆さんから自発的にここはでもこうなのではないかとか、些細な心配はありますけどね。300 円のチケットを配ったら、俺こんなのいらぬよと誰かにやるよとか。そこが健全ではないといえば健全ではない心配もありますが、でも今は何か一歩踏み込まないことには乗り切れないのではないかな。町の飲食店の方に入ってくださいには本来の学校の枠を越えたような一本乗り越えたようなものですので、実際これが採用されるとは限りませんが案としていいですか。それでよろしいですか。

(事務局) この意見は概略的に書いたものなので、もっと肉付けした方がいいのではない

かとなれば、部会長さんが話したようにもうちょっと出してもらってもいいのかなと思います。5点目なんかは時間もなかったので簡単につくってしまったので、もうちょっと付け加えた方が良くと思います。盛り上がった内容であり少ないようなところもあるし。公園についてもちょっと簡単すぎかなというところもあります。軽米高校の件にしても盛り上がっていた割には少なくなってしまうのかなと事務局的には思います。

(副部会長) 5点目辺りは、私たちはつらつ子育て部会なので子どもの視点から言うと子どもが八戸とか遠いところに行って、お風呂にスパとか入って戻ってきているわけなので、湯冷めして風邪を引かせたらいけない。これが地元であれば、温まったままお家へさっと行けるのではないかというイメージはありますね。

(委員) そういうことを具体的に入れればいいのではないですか。そういう風な例があるのでこういう風だよって。だから私たちはこういう風なのが必要というか、そういう具体的な事があるので私たちはこういう風な施設がこういう事があれば良いのかなと思います。みたいな感じで。知らない人たちにはわかりやすい。具体例を入れればこうなんです。と言うと、なるほど、今の状況がこうなんだという事で一步踏み出せるかもしれないですよ。ただ漠然と言ってもなかなか流されちゃうから。

(副部会長) 聞いてても耳に入ってきますもんね。身につまされるような感じにもっていけば。そうかそうかとなりますもんね。

(委員) 子ども達と温泉にたまに行くのですが、行けばそこで何かを食べたくなる。アイスクリームとか。宿泊施設が欲しいという事に私はすごく賛成。私は農家をやっている子ども達と一緒に農家の仕事を日曜日とか夜7時とかまでやるから、嫁さんも外にいる。そうすると、ご飯を作る人がいない。風呂に入るのにも順番に入っていけば、一番小さいのが4年生だけど、10時になる。それだったら風呂に行って入って上がったらご飯も食べられる。そういうのを子ども達は一番期待している。2時間で風呂とご飯もという感じで帰って来れる。子ども達にとってはすごく理想な時間の使い方かなと思う。そういう風なものが入っていればね。

(副部会長) ヒントとしては、子ども達が一番期待している。子ども達に湯冷めをさせない。飲食とかが絡めばお金を落とすことに繋がるという辺りです。結構みんなうんうんと言って勢いがつくかもしれないですね。スポーツ班の方で同じようなものを出すかもですね。公園の管理でボランティアにはTシャツとかジャンパーとか揃えるというのは独自で事務局の方で挙げてくれましたけれども、これは不審者と間違われないようにするためという事だそうです。

(部会長) いいのではないですか。分かって。子ども達もこのおじさんに言えば良いんだなど分かる。ただ、老人クラブに委託する。大丈夫でしょうか。

(委員) 入口に立っていればだいたい良いと思います。私の場合嫁を連れて泊まりに行っても遊び場がないので牧場温泉のところにスポーツランドみたいなものがあって遊ぶところがあるのですが、よその子も一緒に遊んでいて、怪我したり転んだりするとよそのお母さんたちが助けてあげて起こしてあげたりしている。小さい子どもを連れてお母さんが手は貸すと思う。管理人ではないけど一人だけ目印のジャンパーとかTシャツを着た人がいれば、いるだけでほっとすると思う。だから、これは良いなと思う。ブランコに乗れば怪我をする時は怪我をするので、自

分の子どもが他の子どもとぶつかったりすれば他の子どもも助けてくれるから、あまりここで頼んだ人が全部やってあげるのではなく、親は子を自分の責任でみているので、他の子どもを助けてあげるし、あまり気にしないで頼めば良いと思う。入口に立っててくれるだけでいいと思う。

(委員) あんまり管理されてもね。何となく遠目で見ると。そして何かした時にジャンパーを着た人に言えばいい感じ。

(委員) そうですね。指を切りました。手を挟みました。家に帰りましょうとかでも良いと思う。そのくらいの一言でいいと思います。

(副部会長) 他に肉付けしてくださる人はいませんか。先輩の視点からいかがですか。

(委員) 昔は人がたくさんいてみんなと遊べる時代。今は人が少なくなって子どももいない時代。上新町のあたり 15～16 人同級生がいる時代だった。今でも部落ごとにブランコとかはあるところはあるけど。子ども達に声をかけるにも不審者に思われる。

(副部会長) 呼び込みが大事ですよ。世の中変わりましたね。声をかけられたら力になってあげましょうと育てられましたよね。はい、ありがとうございます。この辺りにちょっと力を入れていってもらいたいなと思うことがあれば。

(委員) みなさんの意見で良いと思います。

(委員) 300 円チケットが気になる。300 円のとかなではなくアイス券とかドーナツ券の方がそういう風にした方が、お金の券ではなくて取り替える券の方がいいと思う。一つ食券でもあげた方が良いのではないかと感じました。100 円くらいでもいいんだらうし。

(副部会長) ここは 300 円ではなくてチケット券、食券といったものを。再検討お願いします。でも町長が 300 円払うつもりであれば私たちは従います。はい、ではよろしいですか。今日は 1 時間でよろしいですかね。

(委員) 一ついいですか。軽米高校の文化祭とかあるのですが、遠方で子ども達の母校文化祭を見たいとか言うが、私が仕事だと行く手段がない。バスだったら片道 500 円です。それも朝 7 時 30 分、帰りは 18 時。貰ったとしても行く手段がないので、文化祭の日だけでも中学校の町のバスを出す。その日だけ行けるように一周とか二周行き帰りの手段があれば、このような仕組みが欲しいですよとあれば。何人か行くと思います。子ども達は手段がない。軽米なら歩いて 30 分とか 40 分とかかもしれないけど、15 キロも歩いて行けないし、自転車は無理というか持っていけば駄目だと思うし。町のバスを文化祭の日に合わせて運行してもらおうような事が良いと思いますけれども。

(副部会長) そうですね。小学校高学年からというのもいいかもしれませんね。

(委員) 学校からお知らせしてその時間に回してもらって、来る時間と帰りの時間さえ分かっているれば、家の前とか運転手はここに子どもがいるということを知っている。

(副部会長) お兄さんお姉さんがいる家庭であれば、低学年も連れて歩いてもらえるかもしれないです。

(委員) そういうのもあれば文化祭を見る機会が増えるかなと思います。

(委員) 親しみをもちますよね。行ったり来たりしていると。

(副部会長) 検討をお願いします。結構夢のような話ばかり今までずっとやってきました

けれども、締めにできそうなものがまとまってきましたね。よろしいでしょうか。第3期の子育て部会に続くと思いますので、50分しか経っていないのでみなさんの方から1~2分くらいずつ感想を、このメンバーで集まるのも最後になると思うので感想を一言ずつお願いします。

(委員) 感想と言っても2回くらいしか出席できなくて、申し訳なく思っています。改めてこうやってみんなで意見を出した事が、私が言いたいような事がどんどん入って行ってありがたいなと思います。現実的にこれができるか分からないですけども、みんながこういう思いを思っているというのは、上の人に伝わっていればもう少し軽米町もよくなるなと思います。みなさん今日も来てくださった方々もそうですけど、私の意見を出せる場を作ったことに感謝したいなと思います。ありがとうございました。

(委員) このような機会でなければ出せなかったような意見を述べる事ができた事に感謝をするのと、部会長さんをはじめ副部会長さんの適切な運営というか意見のまとめ方に感謝をする、素晴らしいなといつもそういう風に思って良い会だなという風に思います。それから、5つのポイントにまとめた内容についても、あまり広くなくやりやすいところのポイントだったなという風に思います。

(委員) 軽米に住んでるんですけども、仕事をしているのが軽米ではないので1日のほとんどを別の市町村で仕事をしている状況です。実際に軽米の現状というのがみなさんの話を聞いて、私も分かったという部分が凄くあるので参考になりました。私の子どもはもう中学3年生なので、小さい子どもを持っている方々の現状というのは分からなかったんですけども、まずここでみなさんから出た意見が実際に実現できるような形になっていければ本当にいいなと思いますので、もっと軽米に人が集まるような形にしていければとても良いなと思いました。

(委員) 昨年私は、百人委員会は高齢者いきいき部会でした。いきいきするにはやっぱり年寄りがいきいきしないと、年寄りが多いからいきいきしていきいきな駄目なんだという話で、あ、そうか。と思って納得したのですが、ここのはつつ子育て部会に来ましてやっぱり子どももお母さんも小学生も中学生も高校生も年寄りもみんなが、軽米が住みやすく楽しいよと感じる事が大切なんだな。そういう地域にしないといけないんだなとつくづく感じました。本当若い皆さんのエネルギーとパワーをもらう事ができました。ありがとうございました。

(委員) 去年から参加した時、去年は私の子どもが保育園小学校中学校高校と各場所にそれぞれいて、昔先生だった方の意見とか、子育てを終えられた方の意見とかいろんな世代の意見を聞いていて、軽米に来て8年目9年目になるんですけど、改めて軽米はそういうところだったんだなという認識ができたような場に来させていただいてありがたく思います。ありがとうございました。

(委員) 私は去年から参加させていただいて、全部の部会に参加できたわけでもないですけども、ここに保護者として参加できてみなさんやっぱりいろんな思いを抱えているんだなというのが分かって、改めて個人の意見として発言させていただいて、それをみなさんに聞いていただいて、そうだよなという風に散布させていただいたりとかして、私だけが思っているのではないなというのが分かって、結局のところ軽米町をみんな良くしたいと思っている思いが一番のところがあると思うので、この子育て部会だけではなく、他にスポーツなど全部全てを通して軽

米町がこれから良い方向に発展していくものを、自分のその一員になれている事がすごく嬉しく思いました。ありがとうございました。

(委員) 私も初めて参加させていただいて、今の子育てとかあまり考えなかったんですけど、皆さんのおかげで勉強させていただいて、子どもからお年寄りまでいろんな事が分かって若い人のたちなりの意見を聞いて勉強になりました。ありがとうございました。

(部会長) 私はこの会を通じてみなさんからいろんな事を学ばしてもらいました。自分の子どもは大きいのですけれども、やっぱりよそから来ると、自分の子どもっていか自分の家族しか頼りにならないので困った事は子どもにというような感じになっていましたけれども、やっぱり今のお母さんも同じなんだなと感じました。同じところで悩んだんだなと感じましたし、それを意見としてここに提言できるという事は、少しでもそれが変わっていけば良いなと思いますし、今お母さん達が悩んでいる事が楽に、楽しい子育てになれば良いなと思っています。少しでも近づきたいな、提言をして近づけたら良いなと感じます。以上です。

(副部会長) 事務局を代表しまして総括課長さんから文章を最後仕上げるといふ事をすると思いますけどもね。お願いします。

(事務局) この部会では、みなさんからの貴重な意見をたくさんいただいたなという風に思っております。提言していただいた内容については、これから健康福祉課が中心となりますけども施策に関して具体的にやれるように取り組んでいきたいと思っておりますので、長い目で見てもらいたいところがあるんですが、これからの人たちが頑張ってもらおうという風に思います。あと先程委員さんの方からあったんですけども、部会長さん副部会長さんの進行が非常に素晴らしいという事だったんですが、私も本当にそのように思います。無事に3回会議をやる事ができたのは、部会長さん副部会長さんの進行があったおかげだなという風に思っておりますので、本当にありがとうございました。

(副部会長) 女性代表で最後に締めてもらいます。

(事務局) 皆さんとのディスカッションがとても楽しかったです。5つに最終的にまとめていただきましたけれども、この5つにまとまるまでの思いとかみんなで話し合った事がそれぞれ出されて、話がまとまると短くはなるけれども詰まった今まで過程が本当に貴重だと思います。私もいつも楽しく参加させていただきました。あげていただいた事というのは実現していく事に向けていくのは私たちの役割だと思っていますので、少しでも近づけるようにと先程部会長さんもお話したんですけども、そこを引き継いでその思いを組み立て実現できるように取り組んでいきたいなと思っていました。大変どうもありがとうございました。

(副部会長) ありがとうございました。アットホームな会だったと思います。皆さん、集まり事態も楽しかったという事でとても有意義だったし、この提言が何らかの形で軽米町の未来に繋がって行って、きっと私たちが話し合ったものがちょっとは活かされているという事があった時には、皆さんの胸の中でささやかな喜びになっていくという楽しみにもまだ残っているのではないかなと思っています。それでは、全体会が待っていますので是非皆さん参加されて会長さんの有志を後ろから応援したいと思っています。という事で、事務局の方から何かありますか。

(事務局) 全体会の方はまだ日程が決まってないですが、11月の末29、30日あたりから

12月の下旬にかけてという事で皆様にご案内したいと考えております。是非ご参加していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(副部会長)では、以上を持ちまして軽米町の子ども達のために、私たちのちょっとした知恵を出し合ってやった3回の会議を終了させていただきたいと思えます。以上を持ちまして、軽米町百人委員会平成30年度第3回はつらつ子育て部会的一切を終了させていただきます。みなさんお疲れさまでした。